

【こどもの「居場所」と「出番」の拡充】

（要請内容）

こどもたちが安心して過ごせる「居場所」、そして自己肯定感を育み、社会とつながる「出番」の確保は、単なる福祉施策にとどまらず、こどもの権利保障の観点からも極めて重要な課題であると認識しています。

埼玉県においては、こども食堂、学習支援、プレーパークなど多様な取り組みが展開されており、地域のセーフティネットとして大きな役割を果たしています。しかしながら、地域によっては支援が行き届かず、こどもたちが安心して過ごすことができる場所や、自らの力を発揮する機会が不足している現状も見受けられます。

こどもたちは「未来の担い手」であると同時に「今を生きる存在」です。県内すべての地域において、こどもたちが安全に過ごし、自己肯定感を育み、社会とつながりを得られるよう、以下の施策について、さらなる強化と拡充を要請します。

- （１）こどもの居場所のさらなる拡充と財政支援を含めた支援体制を強化すること。
- （２）地域活動や意思決定機関への参画など、こどもの「出番」を創出する仕組みを構築すること。
- （３）こども・若者の声を反映した施策の推進をはかること。
- （４）地域ネットワークへの支援とコーディネーターの配置強化をはかること。